【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和3年8月26日(2021.8.26)

【公表番号】特表2021-517173(P2021-517173A)
【公表日】令和3年7月15日(2021.7.15)
【年通号数】公開・登録公報2021-031
【出願番号】特願2021-502686(P2021-502686)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7105　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/115　(2010.01)
Ｃ１２Ｎ　15/113　(2010.01)
Ｃ０７Ｋ　16/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｎ
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｋ　31/7105
Ａ６１Ｐ　37/04
Ａ６１Ｐ　35/00
Ｃ１２Ｎ　15/115　ＺＮＡＺ
Ｃ１２Ｎ　15/113　Ｚ
Ｃ０７Ｋ　16/18

【手続補正書】
【提出日】令和2年9月29日(2020.9.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
活性成分として、
ＣＤ３００抗原様ファミリーメンバーＥ（ＣＤ３００Ｅ）タンパク質に結合する物質、又は
ＣＤ３００Ｅ遺伝子の発現を阻害する物質
を含む免疫賦活薬。
【請求項２】
ＣＤ３００Ｅタンパク質に結合する前記物質が、前記ＣＤ３００Ｅタンパク質に特異的に結合する化合物、アプタマー、ペプチド又は抗体若しくはその断片である、請求項１に記載の免疫賦活薬。
【請求項３】
前記ＣＤ３００Ｅタンパク質が、配列番号１又は３のアミノ酸配列を有する、請求項１又は２に記載の免疫賦活薬。

【請求項４】
前記抗体又はその断片が、モノクローナル抗体、ｓｃＦｖ、Ｆａｂ、Ｆａｂ’及びＦ（ａｂ）’からなる群から選択されるいずれか１つである、請求項２に記載の免疫賦活薬。
【請求項５】
ＣＤ３００Ｅ遺伝子の発現を阻害する前記物質が、前記ＣＤ３００Ｅ遺伝子のＤＮＡ又はｍＲＮＡに相補的に結合するアンチセンス核酸、ｓｉＲＮＡ、ｓｈＲＮＡ、ｍｉＲＮＡ又はリボザイムである、請求項１～４のいずれか一項に記載の免疫賦活薬。
【請求項６】
前記ＣＤ３００Ｅ遺伝子の前記ＤＮＡが、配列番号２又は４の塩基配列を有する、請求項５に記載の免疫賦活薬。
【請求項７】
前記ｓｉＲＮＡが、配列番号７～１８の塩基配列のうちのいずれか１つである、請求項５に記載の免疫賦活薬。
【請求項８】
活性成分として、
ＣＤ３００Ｅタンパク質に結合する物質、又は
ＣＤ３００Ｅ遺伝子の発現を阻害する物質
を含む、がんを予防又は治療するための医薬組成物。
【請求項９】
ＣＤ３００Ｅタンパク質に結合する前記物質が、前記ＣＤ３００Ｅタンパク質に特異的に結合する化合物、アプタマー、ペプチド又は抗体若しくはその断片である、請求項８に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
前記ＣＤ３００Ｅタンパク質が、配列番号１又は３のアミノ酸配列を有する、請求項８又は９に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
前記抗体又はその断片が、モノクローナル抗体、ｓｃＦｖ、Ｆａｂ、Ｆａｂ’及びＦ（ａｂ）’からなる群から選択されるいずれか１つである、請求項９に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
ＣＤ３００Ｅ遺伝子の発現を阻害する前記物質が、前記ＣＤ３００Ｅ遺伝子のＤＮＡ又はｍＲＮＡに相補的に結合するアンチセンス核酸、ｓｉＲＮＡ、ｓｈＲＮＡ、ｍｉＲＮＡ又はリボザイムである、請求項８～１１のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
前記ＣＤ３００Ｅ遺伝子の前記ＤＮＡが、配列番号２又は４の塩基配列を有する、請求項１２に記載の医薬組成物。
【請求項１４】
前記ｓｉＲＮＡが、配列番号７～１８の塩基配列のうちのいずれか１つである、請求項１２に記載の医薬組成物。
【請求項１５】
前記がんが、膀胱がん、骨がん、血液のがん、乳がん、黒色腫、甲状腺がん、副甲状腺がん、骨髄がん、直腸がん、咽頭がん、喉頭がん、肺がん、食道がん、膵がん、結腸直腸がん、胃がん、舌がん、皮膚がん、脳腫瘍、子宮がん、頭部又は頸部のがん、胆嚢がん、口腔がん、結腸がん、肛門周囲がん、中枢神経系腫瘍及び肝がんからなる群から選択されるいずれか１つである、請求項８に記載の医薬組成物。
【請求項１６】
がんの予防用又は治療用の医薬組成物を製造するための、ＣＤ３００Ｅタンパク質に結合する物質、又はＣＤ３００Ｅ遺伝子の発現を阻害する物質の使用。